

デイズニーシーへ行つたよ

小坂井西小・4 杉浦 未桜

夏休みに、家族とデイズニーシーへ行つたことを作文に書きます。旅行前日の夜、明日のじゅんぴをして、しつかりアラームのセツトもしてねました。朝五時に起きて、六時に出発するのです。千葉まで車で行くので、四、五時間かかるけど、富士山や都会の高いビルなどが見られたので、あきあきせずに向かうことができました。

デイズニーにとう着し、ミニーのカチューシャを買いました。とてもかわいくて、一目ぼれをしたからです。つけてみると、テンションが上がり、うれしくて、さらに旅行が楽しくなりました。

そして、デイスニーシーで一番人気のタワー・オブ・テラーに乗りました。二十分から三十分で乗れました。お母さん達が行ったころは、二、三時間くらい待ったと言っていたので、わたし達は運がいいなと思いました。タワー・オブ・テラーは、エレベーターに乗って、最上階から下に落ちる乗り物です。落ちるときにおしりがすわつとういて、かばんも空中にういていました。弟の足は顔にくつついて、その後の家族は放心じようたいでした。

次にドナルドダックやチップとデールに会うと、手をふつてくれました。どきつとしてうれしかったです。

そして、デイスニーシーで一番楽しかったタートル・トークに乗りました。このアトラクションは、えい画「ニモ」のクラッシュとおしやべりができます。一番前にすわっていたおかげか、わたし達

がインタビューされました。

「ピンクのカチューシャをした一番前の女の子。」と、呼ばれたときは、まさか自分がインタビューされるとは思っていなかったで、どきどきしました。だれと来たかなど聞かれて、すごくいい思い出になりました。

そして、一番こわかったのは、三百六十度スピンです。この乗り物はジェットコースターで、一列進むたびに悲鳴が上がります。わたしくらいの子はそんなにいなかったで、めちゃくちゃこわかったです。さらになんとこのジェットコースターは、炎の中を通るのです。でも、あまりの速さに暑さも感じません。すごいなとも思いました。

その後、ミッキーに会いました。手をふったり写真を撮ったり、大満足でした。

それから、トイストーリー・マニアに乗りました。これは、シューティングゲームです。お母さんがすぐに乗れる。パスポートを買ってくれたので、すぐに乗ることができました。ここでは、お父さんが一番強かったです。

たくさん遊んであつという間に夜ご飯の時間になってしまいました。夜ご飯は室内でミッキーの形をしたピザを食べました。特別な感じがしてうれしかったです。

最後におみやげを買い、この日は最高という笑顔で写真を撮りました。

つかれたので車にもどろうとしましたが、車がありません。楽しい思いでいっぱい、どこに止めたかみんなわすれてしまったので。そして、わたし達は車探しの旅に出ます。三十分くらいでやっ

と見つかかり、ホテルに行きました。

つかれていたわたしは、お風呂に入っただすぐにねました。朝はバ  
イキングです。いろいろあつておいしかったです。朝もまだ心がは  
ずんでいました。

とっても楽しく最高の旅行でした。家族はいつもいっしょです。  
安心して過ごせます。またいつか、大きな思い出を作りたいです。